

2021年6月期
第1四半期決算説明資料

2020年11月12日



株式会社マーケットエンタープライズ



証券コード：3135

Agenda

- ・ 2021年6月期 第1四半期決算振り返り
- ・ 2021年6月期の認識

Agenda

- ・ 2021年6月期 第1四半期決算振り返り
- ・ 2021年6月期の認識

エグゼクティブサマリー

前年同期比で増収営業減益
事業ごとに良い点 悪い点が混在している

ネット型リユース	Good : 3	Bad : 0	
メディア	Good : 1	Bad : 1	中立 : 1
モバイル通信	Good : 1	Bad : 1	

業績予想に変更なし
市場環境の不透明さは継続しておりレンジ予想を継続

連結損益計算書

増収ながら営業利益は減益

(単位：百万円)	2020年6月期 第1四半期	2021年6月期 第1四半期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	2,598	2,870	+272	+10.5%
売上総利益	1,003	1,103	+99	+9.9%
販売費および一般管理費	832	939	+106	+12.8%
販管费率	32.0%	32.7%	—	+0.7pt
営業利益	171	163	▲7	▲4.2%
営業利益率	6.6%	5.7%	—	▲0.9pt

連結貸借対照表

前期末に急増した売掛金の回収は完了

(単位：百万円)	2020年6月期末	2021年6月期1Q末	増減額	増減要因
流動資産	3,068	2,795	▲273	
現金及び預金	1,255	1,563	+307	主に前期4Qに発生した売掛金の回収による増加
売掛金	1,283	702	▲581	回収による減少
商品在庫	404	400	▲4	販売増も買取も増加したことにより前年度末水準に
固定資産	954	951	▲2	
有形固定資産	359	378	+19	
無形固定資産	313	294	▲19	
投資その他資産	281	278	▲2	
総資産	4,023	3,746	▲276	
買掛金	370	321	▲49	4Qに発生した仕入債務の代金支払いにより減少
借入金	1,324	1,208	▲116	
その他	702	488	▲214	
負債合計	2,397	2,017	▲380	
純資産	1,625	1,729	+104	利益剰余金の計上による増加

セグメント別概況

セグメント別業績概況

ネット型リユースは利益率が改善 他2事業は特需の反動で減益

(単位：百万円)	2020年6月期 第1四半期 (A)	2021年6月期 第1四半期 (B)	B - A	B/A
売上高	2,598	2,870	+272	+10.5%
ネット型リユース事業	1,698	1,665	▲33	▲1.9%
メディア事業	141	169	+28	+19.9%
モバイル通信事業	844	1,086	+241	+28.6%
セグメント内消去	▲86	▲51	—	—
セグメント利益	171	163	▲7	▲4.2%
ネット型リユース事業	166	228	+62	+36.9%
メディア事業	101	95	▲6	▲5.7%
モバイル通信事業	83	75	▲8	▲9.7%
調整額	▲180	▲235	▲55	—
セグメント利益率	6.6%	5.7%	▲0.9pt	—
ネット型リユース事業	9.8%	13.7%	+3.9pt	—
メディア事業	71.7%	56.4%	▲15.3pt	—
モバイル通信事業	9.9%	7.0%	▲3.0pt	—

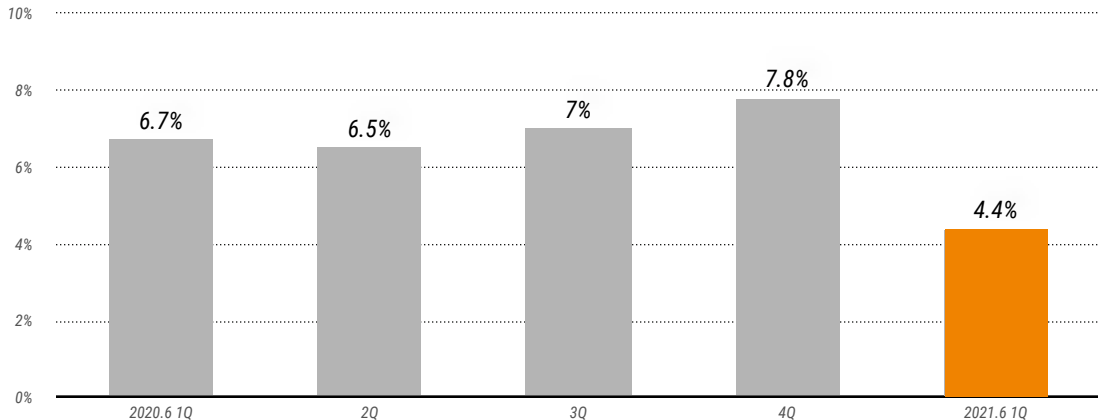
ネット型リユース事業

Good : 3 *Bad* : 0

Good ① 効率的な広告運用を実施

広告宣伝費は約35%減少も売上はほぼ横ばいを維持
結果売上高広告宣伝費率の大幅な引き下げに成功し利益増に貢献

売上高広告宣伝費率

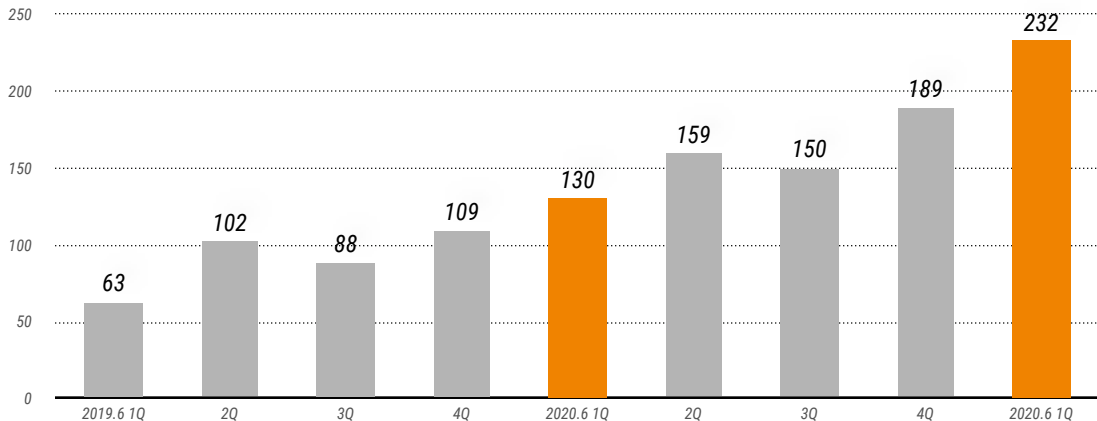


Good ② 農機具販売は高成長を継続

中古農機具の売上高は前年同期比+73%と高成長を持続
旺盛な国内需要に加えて越境ECが成長をけん引

(単位：百万円)

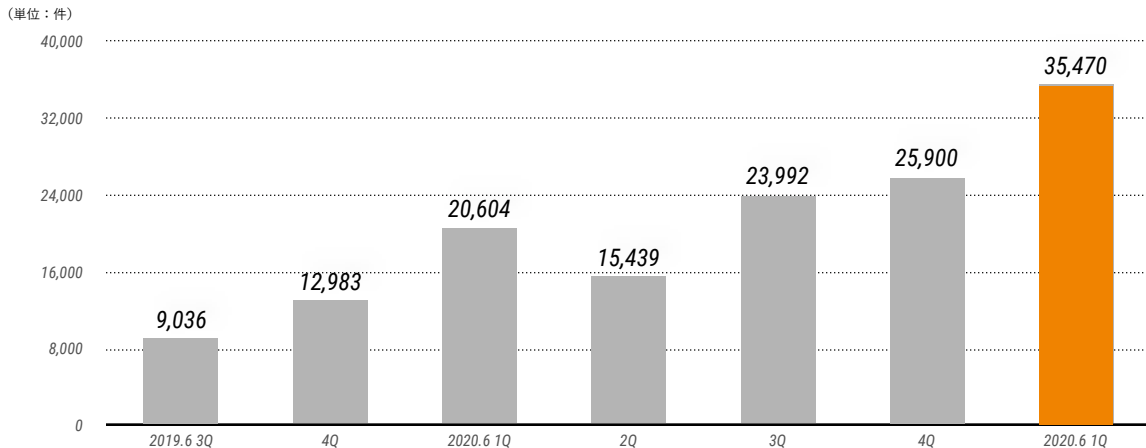
農機具建機売上高推移



Good ③ おいくら依頼数は本格増加トレンド入り

2020年7月の高く売れるドットコムとの本格連携開始以降依頼数は増加基調

おいくら買取依頼数推移（Web経由依頼数）



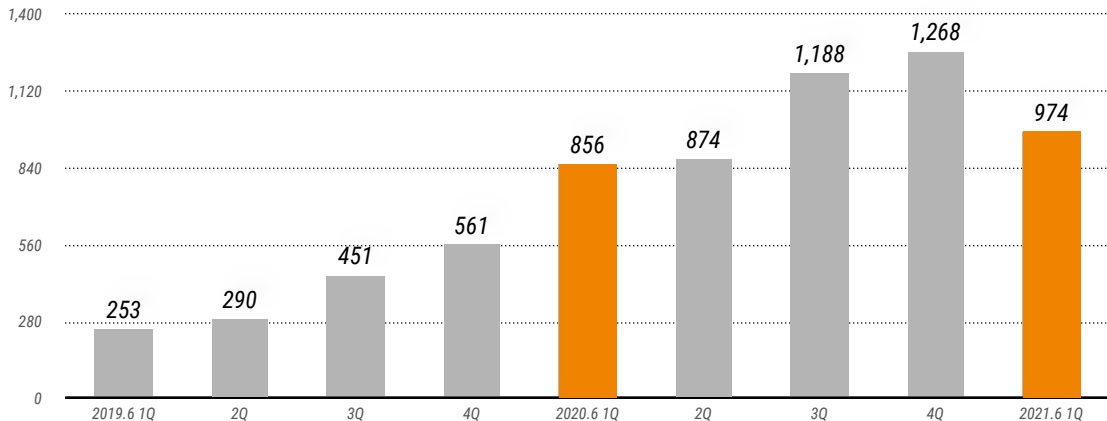
メディア事業

Good : 1 Bad : 1 中立 : 1

Bad 月平均PV数は前四半期比減少

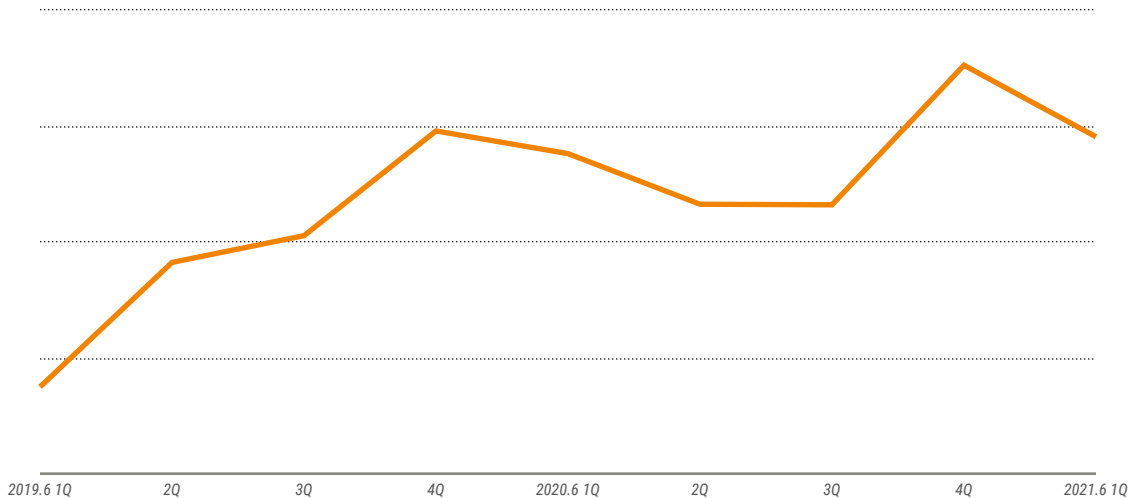
月平均PV数はGoogleコアアップデートの影響に加えて特需の反動により前四半期比では減少
ただ昨年対比では2ケタ成長をキープ

(単位：万PV)



Good PV単価は高水準を維持

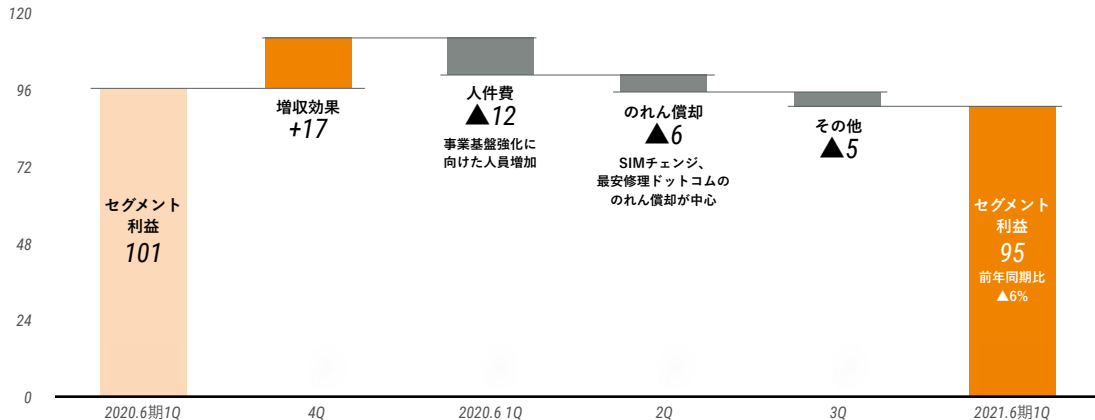
趣味系メディアの貢献及びグループ外向け売上高の増加がPV単価を下支え



中立 固定費の増加を背景にセグメント利益は減益

事業基盤強化に向けた人員増 のれん償却の増加を背景に減益

(単位：百万円)

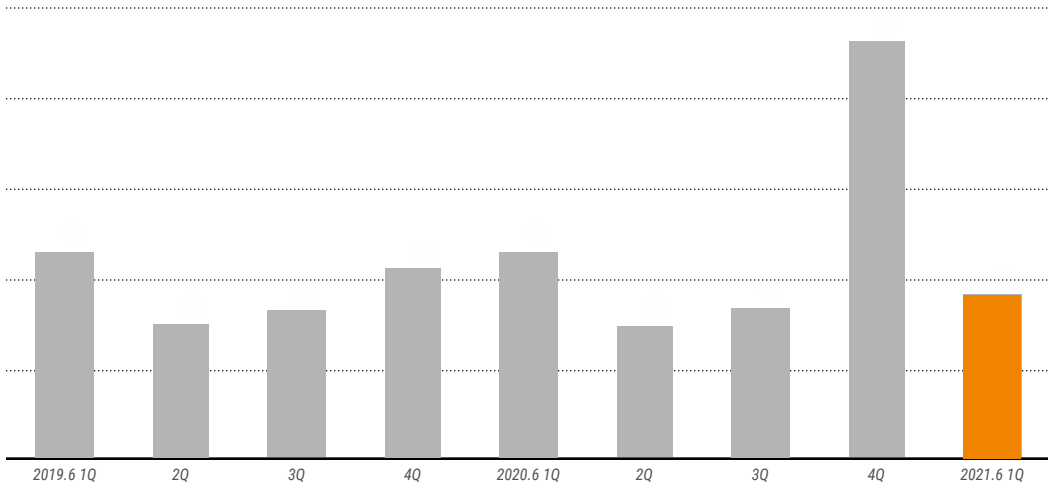


モバイル通信事業

Good : 1 Bad : 1

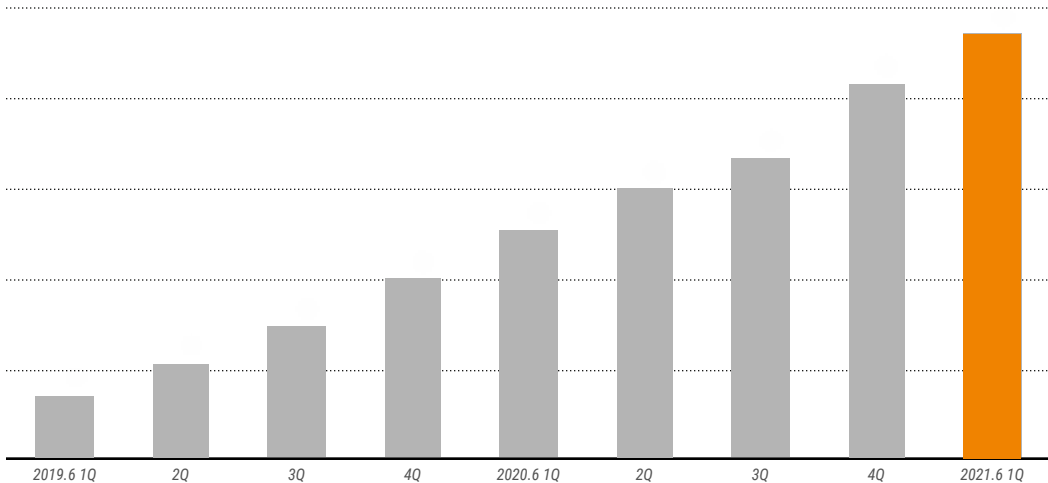
Bad WiMAX新規回線獲得が特需からの反動減

回線獲得数は前年同期比▲21%



Good ストック収益は着実に増加

ストック収益は前年同期比+86%



事業別Good Badまとめ

セグメント	内容	評価
ネット型リユース	効率的な広告運用を実施 農機具販売は高成長を継続 おいくら依頼数は本格増加トレンド入り	<i>Good</i> <i>Good</i> <i>Good</i>
メディア	月平均PV数は前四半期比減少 PV単価は高水準を維持 固定費の増加を背景にセグメント利益は減益	<i>Bad</i> <i>Good</i> 中立
モバイル通信	WiMAX新規回線獲得が特需からの反動減 ストック収益は着実に増加	<i>Bad</i> <i>Good</i>

Agenda

- ・ 2021年6月期 第1四半期決算振り返り
- ・ 2021年6月期の認識

2021年6月期業績予想

業績予想は変更せず

(単位：百万円)	2020年6月期 実績	2021年6月期 予想	前期比
売上高	10,904	13,500~14,500	+23.8%~+33.0%
営業利益	655	730~900	+11.3%~+37.2%
経常利益	664	733~903	+10.4%~+36.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	291	360~450	+23.4%~+54.3%

Good Badに対する今後の考え方

セグメント	内容	評価	今後の見通し
ネット型リユース	<p>効率的な広告運用を実施</p> <p>農機具販売は高成長を継続</p> <p>おいくら依頼数は本格増加トレンド入り</p>	<p>Good</p> <p>Good</p> <p>Good</p>	<p>2Q以降も効率的な広告運用を継続</p> <p>2Q以降も高水準の推移が見込まれる</p> <p>2Q以降も高水準の推移が見込まれる</p>
メディア	<p>月平均PV数は前四半期比減少</p> <p>PV単価は高水準を維持</p> <p>固定費の増加を背景にセグメント利益は減益</p>	<p>Bad</p> <p>Good</p> <p>中立</p>	<p>新型iPhone発売を背景に通信系メディアが回復</p> <p>PV単価は横ばいの見通し</p> <p>固定費は1Q水準を維持する見通し</p>
モバイル通信	<p>WiMAX新規回線獲得が特需からの反動減</p> <p>ストック収益は着実に増加</p>	<p>Bad</p> <p>Good</p>	<p>市場環境は依然厳しい</p> <p>付帯商材販売による引き上げを図る</p>

2021年6月期 セグメント別戦略

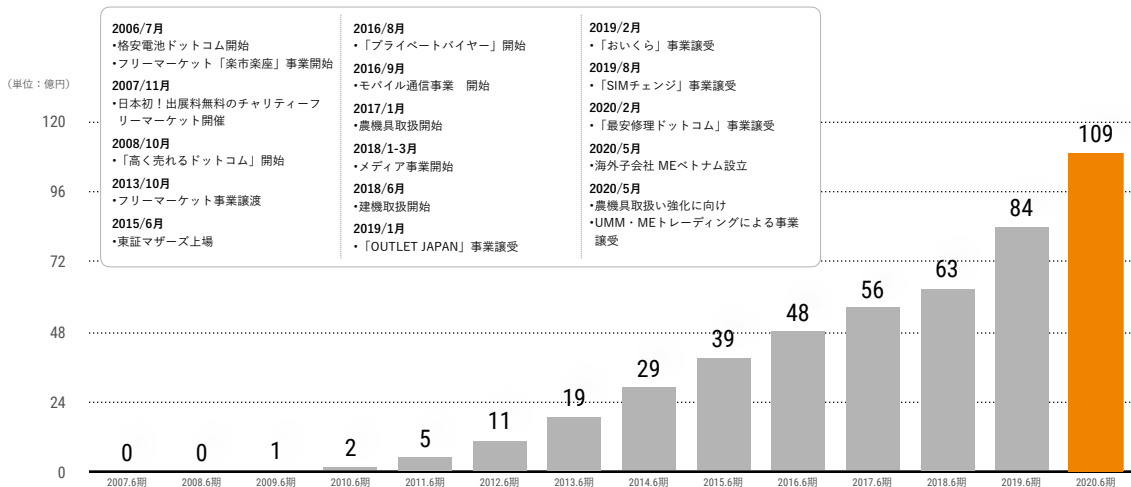
戦略は変更なし

セグメント	戦略
ネット型リユース	<p>個人向けリユース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらなるWebマーケティングの精度向上による集客力向上 ・業務プロセスのIT化・標準化による業務効率化を推進 <p>法人向けリユース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・M&Aシナジー発揮、農機具の買取と海外販売量の増加 <p>おいくら</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パートナー連携プログラム等による買取依頼数拡充 ・地域に依存しないマッチングシステムへの改修
メディア	<ul style="list-style-type: none"> ・運営メディアのコンテンツ拡充等によるドメイン価値向上 ・送客数、送客単価双方の向上
モバイル通信	<ul style="list-style-type: none"> ・Webマーケティング、サービスラインナップ拡充による新規契約回線数拡大に注力

Appendix

商 号	株式会社マーケットエンタープライズ (MarketEnterprise Co.,Ltd.)
設 立	2006年7月7日 (七夕 大安) (事業開始年月日 2004年11月1日)
企業理念	WinWin の関係が築ける商売を展開し、商売を心から楽しむ主体者集団で在り続ける。
資 本 金	3億679万7,000円 (2020年6月末現在)
上 場 場	2015年6月27日東証マザーズ上場 (証券コード3135)
代 表 者	代表取締役社長 小林 泰士
事業内容	ネット型リユース事業、メディア事業、モバイル通信事業
従業員数	426名 (アルバイトスタッフ含む) (2020年6月末現在)
本 社	〒104-0031 東京都中央区京橋 3-6-18 東京建物京橋ビル 3F
主要取引先	ヤフー株式会社/楽天株式会社/アマゾンジャパン合同会社/eBAY Inc./株式会社電通/ 大日本印刷株式会社/コブデリ生活協同組合連合会/佐川急便株式会社/ヤマトホールディングス株式会社

会社設立後14期連続増収達成



マーケットエンタープライズ 子会社一覧



ネット型リユース事業・メディア事業

ネット型リユース事業



株式会社MEトレーディング：出資比率 100%
中古農機具の買取代行及び国内及び海外販売・輸出の代行

メディア事業



株式会社UMM：出資比率 90%
国内最大級の農機具特化型マーケットプレイス「中古農機市場UMM」を運営

モバイル通信事業



株式会社MEモバイル：出資比率 65%
WiMAX、格安SIMなどのMVNOサービスを展開



MARKETENTERPRISE VIETNAM CO., LTD.: 出資比率 100%
MEグループ全事業に関するITシステム基盤のオフショア開発拠点

マーケットエンタープライズグループ 事業拠点

国内16拠点 海外1拠点

■ マーケットエンタープライズ 本社、京橋ランチ
東京都中央区

■ コンタクトセンター／カスタマーサポートセンター（2拠点）
東京都墨田区、徳島県徳島市

■ リユースセンター（10拠点）
北海道札幌市、宮城県仙台市、埼玉県和光市、
東京都江東区、東京都府中市、神奈川県横浜市、
愛知県名古屋市、大阪府吹田市、兵庫県神戸市、
福岡県福岡市

■ MEモバイル
東京都墨田区

■ MEトレーディング（2拠点）
鳥取県鳥取市、栃木県小山市

■ UMM
東京都中央区

■ MARKETENTERPRISE VIETNAM
HCMC, Viet Nam.



事業ポートフォリオ

個人向けリユースから事業領域を拡大

ネット型リユース

個人向け



法人向け



ME TRADING

※2020年5月事業譲受



プラットフォーム



※2019年2月事業譲受

メディア

通信



※2019年8月事業譲受

プラットフォーム



※2020年5月事業譲受



※2020年2月事業譲受

リユース



趣味



※2019年1月事業譲受

モバイル通信

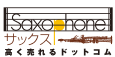
ME MOBILE

サービスブランド

カシモ WiMAX
powered by **UQ WiMAX**

ネット型リユース事業：買取パーティカルサイト

ニッチな商材を中心に30カテゴリーに及ぶ幅広い対応で
月間約4万件の買取依頼を確保



ネット型リユース事業 ビジネスフロー

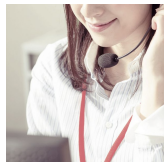
買取、販売ともにマルチチャネル対応で幅広いニーズに対応
『C to B to C※』をベースとしつつも法人大型案件にも対応



※C to B to C : Consumer to Business to Consumerの略 個人間で直接取引をするのではなく、法人を介して行う取引形態のこと

ネット型リユース事業：事業の強み

コンタクトセンターでの事前査定



買取価格・買取方法等のご提案

3つのチャンネルで買取



宅配買取



店頭買取



出張買取

全国に展開するリユースセンター



顧客の身近な地域へ展開することにより
心理的・物理的障壁を低減

札幌、仙台、埼玉、東京、西東京、横浜、
名古屋、大阪、神戸、福岡の10都市に
リユースセンターを展開

標準化されたオペレーション



1,000ページの業務マニュアル

業務プロセスを明文化したマニュアル
『STANDARD BOOK』とその実践による、
サービスレベルの標準化

ネット型リユース事業：ご利用状況

2次流通のプラットフォーマーとしてさらなる成長を目指す

サービス利用者 **延べ4,300,000人**

※2020年6月累計

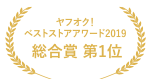
平均販売単価 **約32,000円**

※2020年6月度実績

顧客満足度 **99.50%**

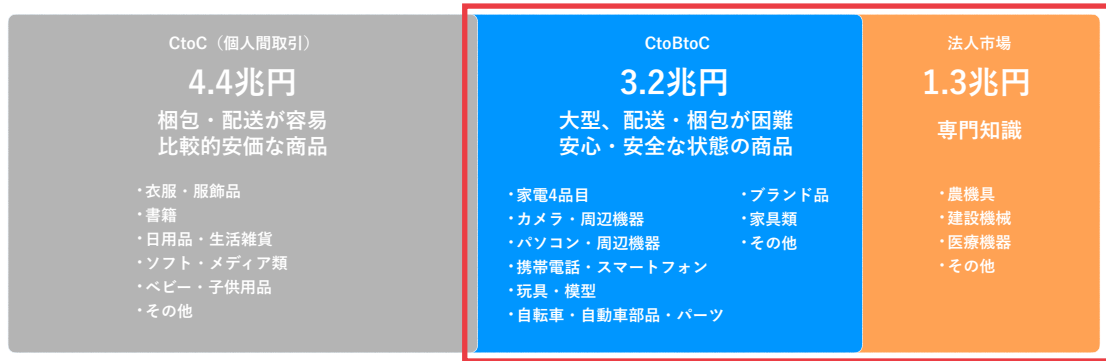
※2020年8月時点の「ヤフオク!」累計評価

ネットオークション売上高 **3年連続1位**



ネット型リユース事業：ターゲット市場規模

ネット型リユース事業の潜在市場規模



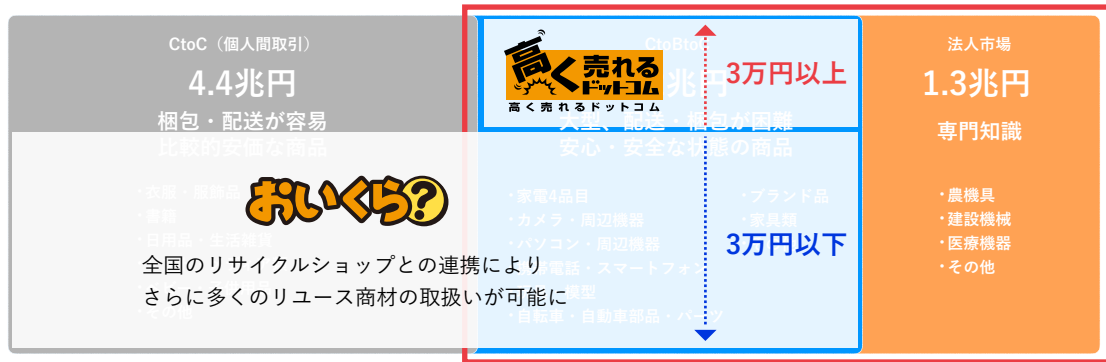
※出典：経済産業省「平成28年度我が国におけるデータ駆動型社会に係る基盤整備（電子商取引に関する市場調査）」より引用

※出典：農機具：農林水産省 建設機械：日本建設機械工業会
医療機器：薬事工業生産動態統計（年報）に将来中古品比率30%乗じた金額

当社市場 4.5兆円+α

ネット型リユース事業：ターゲット市場規模

ネット型リユース事業の潜在市場規模



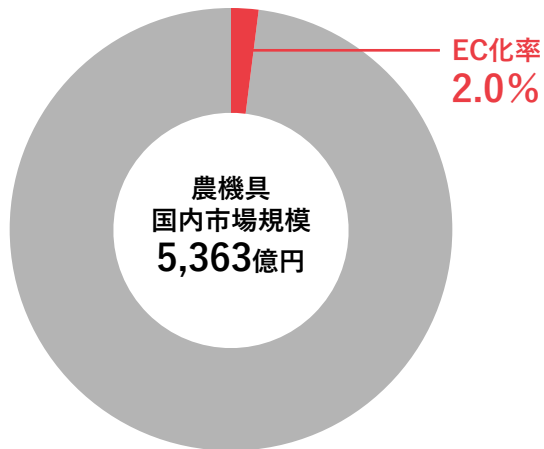
※出典：経済産業省「平成28年度我が国におけるデータ駆動型社会に係る基盤整備（電子商取引に関する市場調査）」より引用

※出典：農機具：農林水産省 建設機械：日本建設機械工業会
医療機器：薬事工業生産動態統計（年報）に将来中古品比率30%乗じた金額

当社市場 4.5兆円+α

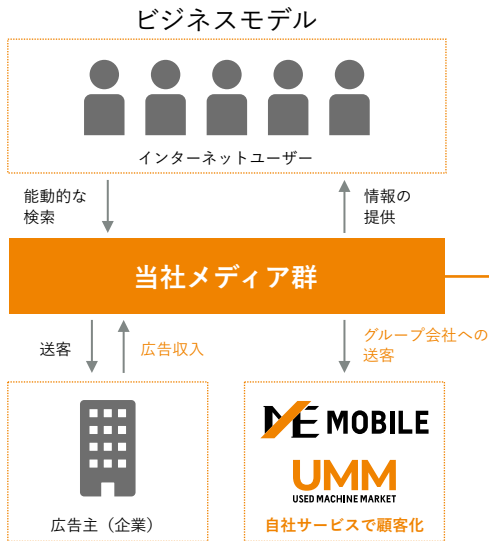
農機具市場：EC化率

農機具のEC化率はわずか2.0% 市場拡大余地は大きい



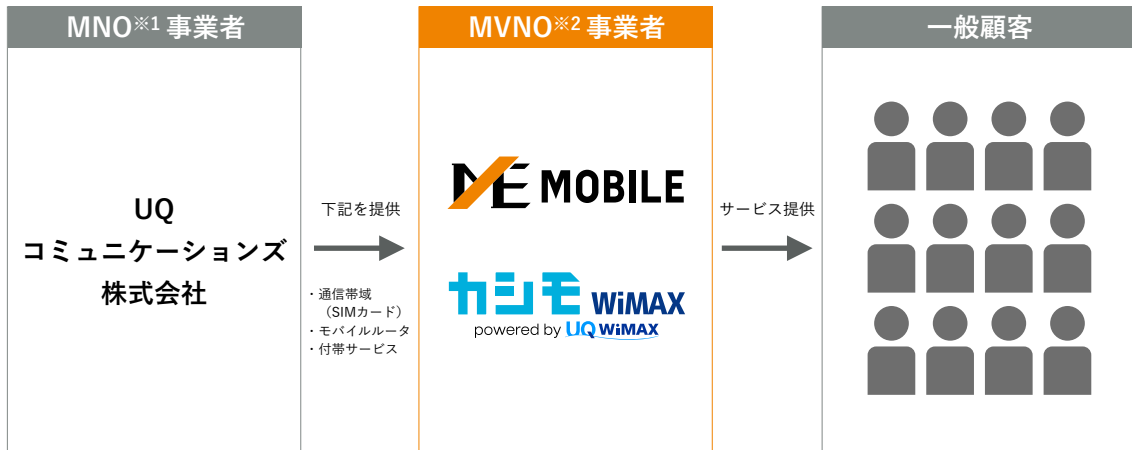
出典：一般社団法人日本農業機械工業会「2019年出荷実績（確定値）」財務省通関統計「農業機械輸出実績」「農業機械輸入実績」EC販売額は当社推計

メディア事業：ビジネスモデル 運営メディア一覧



	2017/06~ iPhone・Wi-Fi・WiMAXの情報メディア
	2019/08~ 格安SIMサービスの比較メディア
	2018/03~ 買取・売却・処分がよくわかるリユースメディア
	2019/04~ 家具・家電をお得に買取・リサイクルするコツ
	2017/06~ 新しい趣味と出会うメディア
	2019/01~ 全国のアウトレットモールの情報メディア
	2020/02~ モノの修理に関するメディア
	2020/05~ 中古農機具の買取・販売プラットフォーム

モバイル通信事業 ビジネスモデル



※1：MNO事業者とは、移動体通信業者を指し、携帯電話等の移動体回線網を自社で設置・保有し、通信サービスを提供する事業者をいう。

※2：MVNO事業者とは、仮想移動体通信業者を指し、移動体回線網を自社で持たず、無線通信インフラを他社から借り受けてサービスを提供する事業者をいう。

『持続可能な社会を目指す最適化商社』

賢い消費者に
様々な選択肢を提供

国内外の
個人法人とともに
循環型ビジネスを構築

少子高齢化や環境問題など日本は多くの課題を抱える課題先進国

マーケットエンタープライズグループ 指針

SDGs（持続可能な開発目標）を経営の指針に掲げる

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGsと事業との連関

持続可能な社会の実現



リユースによる
循環型文化の推進

ネット型リユース
〈個人向け〉



リユースを通じて
日本に眠っている製品を
国内外を問わず循環

ネット型リユース
〈法人向け〉



当社のノウハウ
リソースを活用し
中小企業の成長支援

DX推進支援

マーケットエンタープライズグループ DX推進支援

取引市場 集客支援 インフラ構築など包括的な支援が可能

プラットフォーム

公正でかつ安全な
取引の場の提供

ネット型リユース



メディアプラットフォーム



デジタル集客支援

インターネットメディアを介した
認知度向上 販促支援

メディア（記事型メディア）

〈通信〉



SIM CHANGE

〈趣味〉



〈リユース〉



ネットインフラ構築

安価かつ安全な
ネット環境構築



サービスブランド



今期の事業別成長ステージ (2021.6)

- ・今期はネット型リユース事業が業績をけん引
- ・ネット型リユースの中でも特においくら 農機具がけん引役と想定 (青枠)

	育成・基盤構築	事業規模拡大	売上・利益成長期	安定成長期
ネット型リユース				
メディア				
モバイル通信				

社会貢献活動事例

地域活性化

徳島県の雇用創出、産業振興事業の推進を目的に徳島市の企業誘致制度の適用を受け、2016年6月「徳島コンタクトセンター」を開設



リンクアンドモチベーション社提供の従業員エンゲージメント調査において、徳島コンタクトセンターが「モチベーションチームアワード2020」を受賞

質の高い教育機会の創出

日本全国に眠る“休眠楽器”を寄附いただくことで、楽器が不足している教育機関・音楽団体へ寄贈するとともに、楽器寄付者は「ふるさと納税制度」を活用し、楽器の査定額が税金控除される国内初の取り組み。



参画自治体 16自治体

- ・三重県いなべ市
- ・北海道東神楽町
- ・埼玉県北本市
- ・宮城県富田市
- ・愛知県日進市
- ・長崎県松浦市 など

平和と公正を全ての人に

捜査機関・公的機関との連携により、違法な取引を減少させ、あらゆる犯罪の根絶に貢献。2016～2019年度の3年間で250件を超える捜査協力を実施。



(2018年9月 千葉北警察署での感謝状授与)

連結損益計算書

(単位：百万円)

	2016.6	2017.6	2018.6	2019.6	2020.6
売上高	4,863	5,630	6,333	8,472	10,904
売上原価	2,646	3,190	3,679	5,039	6,662
売上総利益	2,216	2,440	2,653	3,432	4,242
販売費及び一般管理費	2,119	2,448	2,557	2,980	3,586
営業利益 (△損失)	96	△7	96	452	655
経常利益 (△損失)	93	4	94	455	664
税金等調整前当期純利益 (△損失)	84	△3	94	436	623
当期純利益 (△損失)	49	△21	56	265	380
非支配株主に帰属する当期純利益 (△損失)	-	△2	24	62	89
親会社株主に帰属する当期純利益 (△損失)	49	△19	31	203	291
1株当たり当期純利益 (△損失)	9.79	△3.80	6.28	39.87	55.90

※2016.6は、単体数値であります。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2016.6	2017.6	2018.6	2019.6	2020.6
現預金	744	825	938	1,166	1,255
売掛金	114	107	223	504	1,283
商品	367	352	217	367	404
その他	91	79	115	78	126
流動資産	1,318	1,364	1,494	2,117	3,068
有形固定資産	72	60	132	144	358
無形固定資産	1	4	22	109	313
投資その他の資産	107	107	202	245	281
固定資産	181	172	357	499	954
資産合計	1,499	1,536	1,829	2,617	4,023

	2016.6	2017.6	2018.6	2019.6	2020.6
買掛金	0	1	57	176	370
借入金	125	144	158	221	464
その他	274	258	381	601	672
流動負債	399	404	598	999	1,506
長期借入金	167	215	228	333	859
その他	0	0	25	39	32
固定負債	167	215	254	373	891
負債合計	567	619	852	1,372	2,397
株主資本	931	912	945	1,151	1,443
新株予約権	0	0	1	1	1
非支配株主持分	0	4	29	91	183
純資産合計	931	917	976	1,244	1,625
負債純資産合計	1,499	1,536	1,829	2,617	4,023

※2016.6は、単体数値であります。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は
将来の見通し計画のもととなる前提予測を含んで記載しております
実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

マーケットエンタープライズ・IR

ir@marketenterprise.co.jp

持続可能な社会を実現する最適化商社

